

痛みセンターを中心とした慢性疼痛診療システムの均てん化と
診療データベースの活用による医療向上を目指す研究

研究分担者 高雄 由美子 兵庫医科大学病院ペインクリニック部 臨床教授

研究要旨

ペインクリニック部では多数の慢性疼痛患者の診療にあたっている。また全患者の初診時と治療3か月後に各種質問紙票で調査している。本研究は質問紙票で得られた結果を慢性疼痛患者の治療方法の立案に利用できないかを検討、さらに昨年は院内の正式なチームとして立ち上がった慢性疼痛集学的チームが介入する際の患者選定や治療立案に利用できないかを検討した。さらに得られた各種質問紙票の莫大なデータを集計、データ解析する。

A. 研究目的

ペインクリニック部では、多くの慢性疼痛患者の診断と治療に従事している。慢性疼痛は器質的要因のみではなく、心理的要因や社会的要因が大きく関与するということがわかってきた。また痛みが継続的に存在すると中枢神経系において可塑的な変化が生じ（中枢性感作）、これによりさらに難治性に移行することもわかってきている。よって治療を開始するにあたり、われわれは患者の心理的背景や中枢性感作がどれくらい関与しているかを知る必要がある。また患者の痛みの性状がどのようなものかを知る必要がある。われわれは、自己記入式問診票によりえられた患者の情報を解析し、治療方針の決定に寄与できないか調査する。

また当院では慢性疼痛集学的チームを発足した。チームは2022年に病院の正式なチームとして認定されているが、慢性疼痛チームによる患者介入にあたって、各種質問紙票から得られた情報をチーム内メンバーで共有し、患者の治療方針立案に役立てられないかを検討する。

B. 研究方法

初診患者に自己記入式問診票の作成を依頼した。内容は、痛みの強さ（VAS）、痛みの性状（DN4およびSF-MPQ-2）、患者の心理的背景（PCS, HAD）と中枢性感作（CSI）である。問診票は、その後継続して受診している患者には、初診後3か月で再度記入を依頼する。慢性疼痛患者では、必要に応じて慢性疼痛集学的治療チームが介入するが、介入の必要があるかないかに質問紙票の結果が影響するかを

調査する。またチームが介入しない患者の治療立案に質問紙票の結果がどの程度影響するかを調査する。

さらに集積データを利用して、痛みに関与する因子を解析する。慢性痛を生じる因子は、神経障害性疼痛や中枢性感作が影響するとされている。よって痛みの強さを示すVASと罹患期間（カルテから抽出）、DN4とCSIの各関連相互関係を調べる。

（倫理面への配慮）

研究課題名「疼痛患者における痛み評価指標の解析」で兵庫医科大学倫理審査承認済み（承認番号 3541）

C. 研究結果

慢性疼痛患者の治療立案にあたっては慢性疼痛集学的治療チームで介入すべき患者か、介入するとすればどの職種が介入するかを決定するにあたって、初診時に取得した各種質問紙票の結果は有用であったと思われる。またチームが介入する必要がないと判断した症例では、薬物療法の選択にあたり各種質問紙票の結果を参考にすることが有用であり、必要に応じて心理カウンセリングを加えることができた。治療の有効性については、受診毎のVAS値の変動や、3か月後に施行する質問紙票の推移から判断できた。

D. 考察

慢性疼痛治療においては、患者毎に治療立案が重要である。当院では慢性疼痛患者はペインクリニック部を受診する。また近年対外的な研究会で慢性疼痛についての講演をする

機会も多く、最近では慢性疼痛患者が紹介されることが多い。これらの患者の治療方針の決定にあたっては、主治医の診察に加えて問診表を利用することとしたが、有用であったと思われる。また慢性疼痛集学的治療チームの介入に関しても、介入すべき患者の選定や介入すべき職種の選定がスムーズであった。今後は、取得している莫大なデータの解析調査をすすめる。

E. 結論

慢性疼痛患者の治療方針立案と慢性疼痛集学的治療チームの介入の必要性が歩かないかの決定に質問紙票は有用である。

F. 健康危険情報

総括研究報告書にまとめて記載

G. 研究発表

1. 論文発表

- 1) 1.M.Hirose,Y Takao et al. Intraoperative Assessment of Surgical Stress Response Using Nociception Monitor under General Anesthesia and Postoperative Complications: A Narrative Review Med. 2022, 11(20), 6080;
<https://doi.org/10.3390/jcm11206080>
- 2) 高雄由美子. ペインクリニック(解説). 麻酔科学レビュー(1884-8516)2022 巻 Page270-274(2022.06)

2. 学会発表

- 1) 佐藤和美, 高雄由美子, 石本大輔, 橋本和磨, 永井貴子, 廣瀬宗孝. ストレスの捉え方に焦点をあてた心理面談によって痛みが軽減した一症例. 第56回日本ペインクリニック学会総会. 2022年7月8日(東京)
- 2) 佐藤史弥, 高雄由美子, 永井貴子, 石本大輔, 橋本和磨, 佐伯彩乃, 奥谷博愛, 廣瀬宗孝. 過去1年間で経過中に発見した併存疾患の検討. 第56回日本ペインクリニック学会総会. 2022年7月8日(東京)

- 3) 高雄由美子. 周産期の痛み ~ペインクリニックができること! ~. 第10回産科麻酔に参加しよう. 2022年2月11日(WEB)
- 4) 高雄由美子. 神経障害性疼痛の治療戦略. pain expert meeting 残る痛みの治療について考える会. 2022年3月10日(WEB)
- 5) 高雄由美子. 慢性疼痛~最近の話題と当院でのアプローチ~. 第18回愛知県麻酔科医会痛みの講演会. 2022年5月21日(WEB)
- 6) 高雄由美子. 難治性疼痛のアプローチ. pain live symposium in 姫路. 2022年5月27日.(姫路市)
- 7) 高雄由美子. 難治性疼痛のアプローチ. 考える会. 芦屋市医師会講演会. 2022年6月30日.(芦屋市)
- 8) 高雄由美子. 難治性疼痛のアプローチ. 淡路市医師会学術講演会. 2022年7月20日.(淡路市)
- 9) 高雄由美子. 難治性疼痛のアプローチ. 三田市医師会学術講演会. 2022年8月31日.(三田市)
- 10) 高雄由美子. やっかいな神経障害性疼痛—診断と治療—. R4 第2回兵庫県薬剤師会研修会. 2022年12月10日.(神戸市)
- 11) 土井陽子, 西井理恵, 佐藤和美, 吉田賢一, 梶原和久, 高雄由美子. 慢性疼痛に対する集学的治療についての取り組みと今後の課題. 第52回慢性疼痛学会①慢性疼痛診療研修会. 2023年3月10日~11日.(福岡市)
- 12) 佐藤和美, 土井陽子, 西井理恵, 吉田賢一, 梶原和久, 高雄由美子. 自閉症スペクトラム障害と診断された慢性疼痛患者の心理的援助. 第52回慢性疼痛学会. 2023年3月10日~11日.(福岡市)
- 13) 高雄由美子. ガイドライン研修(神経ブロッ

ク).厚生労働省令和4年度慢性疼痛診療
システム普及・人材養成モデル事業近畿
地区. 2023年2月26日(大阪市)

H. 知的財産権の出願・登録状況(予定を含む)

1.特許取得

なし

2.実用新案登録

なし

3.その他

なし